

平成18年度第11回(2月)理事会議事録

- ◇ 日 時：平成19年2月8日(木)午後6時32分～8時42分
- ◇ 会 場：社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者：森嶋、今井、運天、吉本、清水、大垣、荒木、田畑、井戸田、北中山田、酒井、神農、宮野、東野、事務(岩崎)
- ◇ 欠席者：高田、竹浦、高橋、出野、村上、
- ◇ 議 長：森嶋

【 討議内容 】

I. 行動報告(1月分)

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 生涯教育研修制度履修要件が変更
 - ①1クールを3年から5年に
 - ②履修点数を100点から200点に
 - ③現行のA・B・C基礎教科と専門教科の2種類に簡素化する。
- ・ 金井泉賞が廃止される。
- ・ 学術研究奨励賞におけるメーカー協賛を廃止。
- ・ 事業日程
 - 5/17 第56回日臨技学会(宮崎)、9/9 第2回輸血業務一元化に関する全国研修会
 - 10/14 全国8地区ジョイント日臨技フォーラム、11/4 日臨技創立55周年記念事業
- ・ H16.10から18.9の期間(厚労省)医療事故114件中で検査技師関連23件、検査ヒヤリハット204件。
- ・ 医学検査を平成19年1月からA4版に改装。
- ・ 臨床検査データ共有化実践事業に関する計画。

2. 近臨技(2月3日開催)

- ・ 近臨技の研修会のマニュアルを4月の理事会に、見直しに沿って検討する。
- ・ JICAの受入に関して、近畿で国際部海外協力委員会を立ち上げ、受け皿とする。来年からの4年間、西アフリカの研修生を受け入れる。

3. 事務局

〈総務部〉部会開催(1月17日)

- ・ 2月理事会開催準備

- ・ 第 47 回近畿医学検査学会の進捗状況について報告。
- ・ 表彰委員会の報告をした。
- ・ 総会の対応について討議。
- ・ 賛助会員の対応について討議。
- ・ 危機管理について討議。

〈会計〉

- ・ 11 月度収支計算書を作成。

〈広報〉

- ・ 大臨技ニュース 1 月号発行。
- ・ 大臨技ホームページ更新。

〈渉外部〉 部会開催（1 月 16 日）

- ・ 大放技合同フォーラムの最終確認。
- ・ 来年度事業計画の担当について討議した。

4. 事業局

〈情報組織部〉 部会開催（1 月 18 日）

- ・ 平成 19 年事業（4/21 収支管理研修会）について内容を検討。

〈地区事業部〉 部会開催（1 月 18 日）

- ・ 平成 19 年 3 月 17 日 施設連絡者会に関して検討した。
場所：阿倍野区民センター地下 1 階小ホール 15：00～16：50
- ・ 平成 18 年度事業についての総合反省会および親睦会をした。

〈学術部〉 部会開催なし

III. 公益法人の立入調査について報告

2 月 15 日 14：30 より大阪府健康づくり感染課が立入調査を実施する。

- 認定基準
- ①公益目的事業を行なうことを目的としている。
 - ②公益目的事業に係る収入が適正費用を超えていない。
 - ③公益目的事業比率が 50%以上。
 - ④遊休財産額が一定額を超えない。
 - ⑤定款に公益性が記されている。

IV. 代議員会について報告

特別委員会中間報告

- ・ 学会の参加者数の増加をみこめる土・日開催も可能と判断。
- ・ 学会に参加しやすい基盤整備の利便性を考慮し、首都圏・中部圏・阪神圏・北九州圏を主軸に 4 つのエリアで開催を考えている。

V. 日臨技全国会長会議の報告

都道府県連絡会議

- ・ 公益法人制度について
- ・ 臨床検査データ共有化について
- ・ 生涯教育研修制度について
- ・ 福利厚生事業について
- ・ 表彰制度の変更について
- ・ 都道府県提出事項について
- ・ その他

定款の改定・日臨技 55 周年祝賀会・JAMTIS の見直し等

VI. その他

大阪府地域医療推進協議会主催

1 月 24 日に大阪中央公会堂にて大阪府民集会があった。

IT 化によるネット流出について。

【 議 題 】

I. 高齢者雇用安定法の対応について。

就業規則第 53 条 定年後の非常勤、継続雇用についてのルールを試案。

各施設の規則等を確認し、たたき台を作り理事会で検討する。

II. 全国臨床検査データ共有化事業について

臨床検査データ共有化事業を日臨技主導で進めるにあたり、各都道府県に協力の要請があった。日臨技も討議の結果、参加する方向で検討することになった。

III. 近畿医学検査学会について

- ・ 企業参加企画申込状況は、8 割の枠は埋まったが賛助会員以外でも広告掲載依頼を推進していく。
- ・ 学会案内については、A3 ポスターで一般演題募集内容は、HP 参照形式とする。
- ・ HP 担当者の真鍋氏に実行委員会への参加を依頼する。
- ・ 庶務の会合の場を設定したい。(実行委員会の前週の土曜日 2～3 時間)

IV. 総会について

- ・ 予算タイムスケジュール、設備等の確認をする。
- ・ 各部に人員の要請を依頼する。